

作成日 2009年10月1日
改訂日 2016年6月1日

安全データシート（混合物用）

1. 製品および会社情報

製品名 エフロストップ
会社名 ヤブ原産業株式会社
住 所 〒334-0054 埼玉県川口市安行北谷 546
担当部署 販売営業部
作成者 技術部
電話番号 048-297-4111 FAX番号 048-290-1198
緊急連絡先 048-297-4111
推奨用途及び使用上の制限 白華防止剤
整理番号 150000

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性	皮膚腐食性／刺激性	区分1
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分1
環境に対する有害性	水生環境有害性（急性）	区分外
	水生環境有害性（慢性）	区分外

*上記で記載がない危険有害性は、区分外、分類対象外か分類できない。

ラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語 危険
危険有害性情報 重篤な薬傷、眼の損傷
重篤な眼の損傷

注意書き

【安全対策】

適切な保護手袋／保護眼鏡／保護マスク／保護面／保護衣を着用すること。
粉じんまたはミストを吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。

【応急措置】

皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと／取り除くこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物／容器を都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 蒸気、ガス等を吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合 : 付着物を布にて素早く拭き取る。
直ちに汚染された衣類をとりのぞくこと。
大量の水および石鹼または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。
- 眼に入った場合 : 直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
まぶたの裏まで完全に洗うこと。
直ちに医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合 : 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
嘔吐物は飲み込ませないこと。
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5. 火災時の措置

- 消化剤 : 全ての消化剤
- 特有の消化方法 : 可燃性のものを周囲からすばやく取り除く。
指定の消化剤を使用すること。
高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。
消火活動は風上より行う。
周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。
- 消化を行う者の保護 : 適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置 : 作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
- 環境に対する注意事項
封じ込めおよび浄化の方法・機材 : 河川への排出等により、環境への影響を起こさないように注意する。
漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
付着物、廃棄物等は、関係法規にもとづいて処置すること。
スコップ、ウエスで回収する。大量の流出には盛土などで流出を防ぐ。水での洗浄なども、河川等への排出、環境汚染を引き起こす恐れもあり注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : 換気の良い場所で取り扱う。
容器はその都度密栓する。
皮膚、粘膜、または着衣に触れたり、眼に入らぬよう保護具を着用する。
取扱い後は手・顔等は良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。

保管

技術的対策および保管条件 : 日光の直射を避ける。
通風のよいところに保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

保護具

手の保護具 : 有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
目の保護具 : 取り扱いには保護メガネを着用すること。
皮膚及び身体の保護具 : 取り扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

9. 物理的および化学的性質

状態 : 液体
色 : 淡黄色透明
臭い : ややあり
PH : 14 (20℃)
引火点 : 199℃
比重(密度) : 1.06
水に対する溶解性 : 易溶

10. 安定性および反応性

安定性 : 常温付近では危険な反応はしない。
避けるべき条件 : 火気および高温体との接触。

11. 有害性情報

急性毒性 経口 : 区分外
経皮 : 区分外
吸入 : 区分外
皮膚腐食性・刺激性 : 区分1
眼に対する重篤な損傷・刺激性 : 区分1
呼吸器感作性または皮膚感作性 : 区分外
生殖細胞変異原性 : 区分外
発がん性 : 区分外
生殖毒性 : 区分外
特定標的臓器・全身毒性－単回暴露 : 区分外
特定標的臓器・全身毒性－反復暴露 : 区分外
吸引性呼吸器有毒性 : 区分外

12. 環境影響情報

生態毒性 : 情報なし
残留性・分解性 : 情報なし
生態蓄積性 : 情報なし
土壌中の移動性 : 情報なし
水生環境有害性 (急性) : 区分外
(慢性) : 区分外

- ・漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。
- ・特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約(マニフェスト)をして処理をする。

容器、機器等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規にしたがって処理を行うか、委託をすること。

汚染容器および包装 : 空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

1 4. 輸送上の注意

共通

取り扱いおよび保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

国内規定

国連番号 : 3 2 6 7

指針番号 : 1 5 3

陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。

海上輸送 : 船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空輸送 : 航空法に定めるところに従うこと。

国際規制

国連番号 : 3 2 6 7

国連輸送名 : 腐食性液体 (アルカリ性、有機物)

国連分類 : クラス 8 (腐食性物質等)

容器等級 : 容器等級 II

1 5. 適用法令

消防法 : 非該当

労働安全衛生法 : 非該当

有機溶剤中毒予防規則 : 非該当

化学物質管理促進法 : 非該当

1 6. その他の情報

参考文献

- ・ GHS 対応 SDS ・ ラベル作成ガイドブック [混合物 (塗料用)] (日本塗料工業会)
- ・ SDS 用物質データベース (日本塗料工業会)
- ・ 国際化学物質安全カード (I C S C)
- ・ 原料 SDS

注意

本データシートは、作成または改訂時において、製品およびその組成に関する最新の情報 (危険有害性情報・取扱い情報等) を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改訂いたします。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。

本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行ってください。